



健康保険の適用で重粒子線治療が身近なものに 核医学治療や光免疫療法も推進

県立がんセンターの重粒子線治療施設 i-ROCK。正常な周辺組織への影響が少なく、体内深部のがんにも効果のある重粒子線治療ですが、開設当初は、全額自費の「先進医療」でした。私たちは一人でも多くの県民が最新・最善の治療を受けられるよう、健康保険適用の拡大を要望し続けてきました。現在、i-ROCKで行われている

治療では、◎が保険適用、○は先進医療(自費)となっており、治療件数で見ると約9割が保険適用となるまで前進しました。

今後は、放射性同位元素(ラジオアイソトープ)を用いた核医学治療や、進行がんや末期がんにも効果があるとされる光免疫療法などへの積極的な取組を促していきます。



重粒子線治療施設i-ROCK外観



重粒子線治療室の内部

- ◎頭頸部悪性腫瘍 ○1期肺癌 ◎肝細胞癌(直径4cm以上)※ ○肝細胞癌(直径4cm未満) ◎肝内胆管癌※
 - ◎局所進行膀胱癌※ ◎限局性及び局所進行性前立腺癌 ◎限局性骨軟部腫瘍※ ○早期食道癌
 - ◎早期大腸癌(手術後に再発したもの)※ ◎局所進行性子宮頸癌※ ○婦人科領域悪性黒色腫 ○転移性肺腫瘍 ○転移性肝腫瘍 ○転移性リンパ節腫瘍
- (※は手術による根治的な治療が困難な場合に限り)

2019年4月の選挙で旭区の皆さまのご信任をいただけてから、まもなく4年。任期中、多くの時間を新型コロナウイルス対策に費やすことになりましたが、そうした中でも、おのでら慎一郎と公明党県議団は生活に身近な課題に着実に取り組んできました。今回は、主に昨年の活動についてご報告いたします。



おのでら慎一郎が、県議会本会議で眼科リハビリや盲学校への導入を提案した「レーザー網膜投影技術」。県内のベンチャー企業<(株)QDレーザー>が開発した、ロービジョン(弱視)の人でも網膜の機能が残っていれば視力に関係なく鮮明な画像が見られる新技術が、各現場に導入され始めています。

神奈川県リハビリテーション病院ロービジョン外来ではメガネ(アイウェア)型の機器を導入。県立平塚盲学校にはデジタルカメラにレーザー網膜投影機器を搭載した新型機をQDレーザー社から無償で提供していただきました。また、病院と盲学校双方からの意見をもとに改良を重ねたハンディ型も製品化されています。

ロービジョンの方々へ 最先端の補助具を導入



文部科学省は第6次学校図書館図書整備等5か年計画の中で地方財政措置を講じ、小学校に新聞2紙、中学校に3紙、高校に5紙を配置するよう都道府県教育委員会に通知しました。

県内の新聞販売組合では、NIE(教育に新聞を)や「すべての教室に新聞を」運動を展開し、希望する学校に無料で新聞を提供していただけていますが、それだけでは決して十分とは言えません。

児童・生徒のメディアリテラシー(多様なメディアから発せられる情報の正誤、発信者の意図などを読み解く能力)を育むためにも、文科省の通知に基づいた購読を促進するよう、昨年4月25日、花田忠雄教育長に申し入れを行いました。

メディアリテラシーを育むために 学校にもっと新聞を



機器提供に対し、桐谷次郎教育長(当時:左から2人目)から菅原充(株)QDレーザー代表取締役(右から2人目)に感謝状が贈られました。左端は佐藤元治平塚盲学校長(当時)



左から、メガネ(アイウェア)型、デジタルカメラ型、ハンディ型。おのでも体験しました。

こころの電話相談

回線を増やし、
時間も延長



「つ」なかりにくい」「夜間に相談できない」。おの
慎一郎の本会議での質問をきっかけに、2022
年度は予算を3倍以上に増やし、回線の増設や相談時
間の深夜までの延長を図ってきた「こころの電話相談」。
昨年12月10日からは、さらに回線を増やし、年中無休
24時間対応となりました。
連絡先は0120(939)289。平日の午前9時から午後
9時は0120(821)606でも受け付けます。

带状疱疹ワクチン

助成と
定期接種化に向けて



「昨」年12月、公明党県議団は「带状疱疹ワクチンへ
の助成並びに定期接種化を求める意見書」を
提案。欠席1会派を除く全会一致で可決されました。国内では、50歳代から発症率が高くなり、80歳までに3人
に1人が発症するといわれる带状疱疹。
発症予防にはワクチンが有効であるにもかかわらず、接種費用が比較的高額になることから、接種を諦
める高齢者も少なくありません。深刻な健康被害を未
然に防ぐため、国に対し早急な対応を求めました。

出産育児一時金の 増額が実現

出産費の値上げも抑制



「神」奈川県議会では一昨年10月、公明党が提案し
た「出産育児一時金の増額を求める意見書」
を可決し、政府に提出しました。2023年度から、原則
42万円から50万円に引き上げられることとなり、大きな
前進と捉えています。
ただ、出産にかかる費用は医療機関によって異なり、一時金が上がると、その分値上げする動きも出てき
ます。報道では、厚生労働省が医療機関ごとの費用を
一覧化してホームページ等で公開すること。費用
の透明性を高めるとともに、値上げを抑制する効果も
期待されています。

ヤングケアラー問題 に着目 支援条例の制定めざす



「病」気の母親に代わって家事を担い、障
がいのあるきょうだいの面倒をみなが
らアルバイトにも追われる。高校にもほとんど
通えなくなり、卒業が危うい。「子どもの貧困」
問題では支援体制の構築に一役買ってきた
自負もある私でしたが、一人の「ヤングケア
ラー」を前に激しい無力感に襲われたのでし
た。
ヤングケアラーをはじめ、家族など身近な
人の介護や世話をしているケアラーを社会全
体で支えるしくみをつくる必要があるのでは
ないか。ケアラーが抱える困難を一家庭の中
だけでなく県民の共通課題として捉えるため
の条例の提案に向け、他会派の有志議員とも
連携し勉強を重ねています。

現金支給から現物支給へ ベーシック・サービス論議、 始めました

「医」療、介護、障がい者福祉、大学教育の
自己負担分のほか、給食費や学用品
費など人間が生きていく上で不可欠なサー
ビスを無償化する「ベーシック・サービス」。昨年3
月、私の県政報告でその基本的な考え方につ
いて書きましたが、公明党は昨年12月22日、高
齢者人口がピークに達する2040年に向け、社
会保障改革の大きな流れを示すために、ベー
シック・サービス理論などを踏まえた議論をス
タートさせました。
ベーシック・サービスについては、「あれは政
策というより思想」と現実性に疑問符を付ける
政治家もいますが、骨太な思想こそが抜本的
な改革を可能ならしめることを忘れてはいけな
いと思います。



笹野台2丁目の境
友坂。急坂の途中、境
友自治会館横の交差
点は車から歩行者を
視認しにくく、安全対
策が求められていま
した。これまでの外側
線や交差点マーク等
に加え、交差点ギリギ
リまで横断歩道のゼ
ブラ模様をペイントし
ていただきました。

地域の安全と安心に全力



拡幅のための用地も
ほぼ確保済みの白根通
り。齊藤橋付近の工事
は、私が県と横浜市の
間に入り、河川法に抵
触しない拡幅が実現し
ました。2023年度
は、警察との協議で道
路の線形を確定。全線
にわたる拡幅工事に着
手します。

急坂の交差点、
横断歩道の引き直して
安全な通学路に

齊藤橋付近が
広がった白根通り。
2023年度は
全線の拡幅工事に着手

私が暮らす二俣川ニュータウン
地区。高齢化が進み、地域コミュニ
ティの維持・再生が課題となってい
ます。「社協だより」(現在は「二
俣川ニュータウンだより」)の編集
のお手伝いなど、社協活動も10年
となり、昨年3月、吉原真人連合
町内会長(当時)から感謝状をい
ただきました。
これからも「現場」から多くを
学び、少しでも地域の力となれる
よう努力してまいります。

おのでの左は
吉原真人二俣川ニュータウン連合
町内会長(当時)



二俣川NT連合町内会から
感謝状をいただきました

おのぞら慎一郎プロフィール▶昭和31(1956)年2月12日生まれ▶学習院大学文学部卒業後、平凡出版(現マガジン
ハウス)に入社。雑誌『ポパイ』『ブルータス』や書籍の編集に携わる。『ポパイ』第8代編集長▶平成15(2003)年、神
奈川県議会議員に初当選。現在5期目▶防災警察、商工労働、厚生各常任委員会の委員長を歴任▶県議会第111
代副議長。神奈川県監査委員(令和2年度)▶令和4年(2022)年度、文教常任委員会委員、決算特別委員会委員



みなさまの声を寄せてください



フェイスブック



ツイッター